

# 令和3年度病害虫発生予察指導情報

( ナシ・ハダニ類 )

令和4年1月6日  
鳥取県病害虫防除所

## 1. 情報の内容

- (1) 県内巡回定点におけるカンザワハダニの越冬量は、1バンドあたり平均1.8頭（平成：5.5頭）で、平成並となっている。
- (2) ナミハダニの越冬量は、1バンドあたり1.7頭（平成：0.1頭）で、平成に比べて多い。
- (3) クワオオハダニの越冬卵数は1短果枝当たり6.7個（平成：0.4個）で、平成に比べて多い。

表1 ナシにおけるハダニ類の越冬量

調査地点	カンザワハダニ（成虫）*			ナミハダニ（成虫）*			クワオオハダニ（越冬卵）			
	本年	前年***	平成**	本年	前年***	平成**	本年	前年***	平成**	
東部	鳥取市 佐治町****	0	中止	0	中止	0	38.0	中止	0.1	
	鳥取市 青谷町****	0	0	0	0	0	20.0	2.1	0.5	
	八頭町	15.3	0.3	38.7	13.7	0	0.4	0	0.2	
中部	倉吉市 中野	0	0.5	0.1	0	0	0	2.4	0	
	湯梨浜町 別所	0	2.5	1.1	0	0	0.1	0.0	0	
	北栄町 由良宿	0.3	0	0.0	0.7	0.2	0.0	0	0.3	
	琴浦町 竹ノ内	0.7	0	9.3	1	0	0	0	0.3	
西部	大山町 松河原****	0	0	0	0	0	0	0	0.1	
	南部町 朝金	0	0	0	0	0	0	0	0	
県平均		1.8	0.4	5.5	1.7	0.0	0.1	6.7	0.3	0.4

\*：カンザワハダニ、ナミハダニはバンドを回収後、恒温器室内（23℃設定）で1週間程度観察し、種類を判断した。

\*\*：平成はH23～R2の平均値

\*\*\*：鳥取市佐治町は調査園伐採のため中止

\*\*\*\*：令和元年度調査地点変更（平成値は変更前の調査地点の値を示す）

\*\*\*\*\*：令和3年度調査地点変更（前年、平成値は変更前の調査地点の値を示す）

調査方法：9月下旬に紙バンドをほ場に設置。園あたり6バンド（1樹3バンド、2樹設置）。  
11月下旬に紙バンドを回収後、バンドあたりのカンザワハダニ及びナミハダニ越冬個体数を調査。同時に園あたり40短果枝を採取し、短果枝あたりのクワオオハダニ越冬卵数を調査。

## 2. 防除上注意すべき事項

秋期にハダニ類の発生量が多かった園では、越冬量が多いと予想されるため、休眠期の防除を徹底する。カンザワハダニ及びナミハダニには（1）～（3）、クワオオハダニには（3）が有効である。

### （1）誘殺バンドの取りはずし

主枝や垂主枝に誘殺バンドを設置している園では、12～2月にバンドを取りはずして処分する。

### （2）粗皮削り

12～2月に、カンザワハダニやナミハダニの越冬場所である粗皮を削り取る。特に、誘殺バンドを巻き付けた部分の粗皮は必ず削り取っておく。

### （3）薬剤散布

3月中旬に、マシン油97%乳剤（ハーベストオイル）50～100倍液を散布する。